

VISION 執筆要領

日本視覚学会編集委員会

1992年2月24日 制定
2009年3月3日 改訂
2010年3月1日 一部改訂
2012年3月1日 一部改訂
2014年3月25日 一部改訂
2016年1月20日 一部改訂
2018年3月22日 一部改訂

1. はじめに

1.1 編集方針

VISIONは日本視覚学会が発行する季刊の機関誌で、編集委員会において会員に役立つと判断された記事を広く掲載します。現在、大別して査読付き投稿論文（原著論文，研究速報），査読なし投稿論文（講演要旨，研究ノート），解説論文，その他の記事等を掲載しています。

査読付き投稿論文は、専門家による査読およびそれをもとにした編集委員会の審査により採否が決定されます。著作権の制約のある他誌へ発表したことのないオリジナルな内容であることが必要で、本誌に採択された場合は同一内容の論文の他誌への再投稿禁止という制約が付きまします。

査読なし投稿論文は、査読は行わず著作権の委譲も伴いません。他で報告された内容、もしくは今後投稿予定の研究成果を視覚学会会員に伝えることができますが、当該他誌等における著作権や審査におけるオリジナリティ判断への影響にご留意ください。

解説論文，その他記事については、基本的には会から執筆を依頼していますが、執筆を希望される方がありましたら会まで連絡してください。その場合編集委員会による審議の上、執筆をお願いする可能性があります。またそれ以外の提案も歓迎いたします。

それぞれの投稿規定について、詳しくは本節第2項(1.2)「掲載論文・記事の種類」をご覧ください。また、投稿原稿の体裁などについては第2

節「原稿の準備」をご覧ください。また、査読付き投稿論文（原著論文，研究速報）の投稿規定および体裁については、第2節と3節の関連部分、および「査読付き論文投稿規定」をご覧ください。

1.2 掲載論文・記事の種類

1.2.1 査読付き投稿論文（原著論文，研究速報）

(a) 原著論文

視覚に関係のある論文であり、新規性、正確性が査読プロセスにより審査され採否が決定されます。採用された論文の著作権は本会に帰属します。内容は、視覚に関連する、心理物理的研究，生理学的研究，計算論的研究など、あるいは方法論に関するものを歓迎します。内容について不明な点がある場合は編集事務局（7.1参照）に問い合わせ下さい。詳細は、別に定める「査読付き論文投稿規定」を参照して下さい。

(b) 研究速報

原著論文として十分とはいえないが、新規性が認められ視覚研究分野において価値があると思われる短い論文です。基本的には上記原著論文と同様の取り扱いとしますが、考察は未成熟であるが興味深いデータを紹介する、興味深い結果が得られたが実験の分量が足りない、などの場合に該当します。図を含め、刷上りは原則として4ページ以内とします。詳細は、別に定める「査読付き論文投稿規定」を参照して下さい。

1.2.2 査読なし投稿論文（講演要旨，研究ノート）

(a) 講演要旨

本会主催の講演会・研究会・特別講演会などにおいて発表された講演の要旨です。査読は行いませんが、内容によっては編集委員会より変更を求めると掲載をお断りすることがあります。講演会での討論が内容に反映されていることが期待されます。図を含め、刷上りは4ページ以内とします。ただし、特に編集委員会が認めた場合には6ページまでとすることが可能です。掲載された論文の著作権は本会に帰属しませんが、本会による公表について第3節を参照して下さい。

なお、ベストプレゼンテーション賞受賞発表に関する講演論文は依頼論文扱いとし、講演要旨の形式に従うこととします。

(b) 研究ノート

原著論文・研究速報にするには新規性について不足があるが、記録を公開して残すことが多くの視覚研究者にとって価値があると思われる論文です。査読は行いませんが内容によっては編集委員会より変更を求めることがあります。刷上りは4ページ以内としますが、編集委員会が認めた場合には6ページまでとすることが可能です。掲載された論文の著作権は本会に帰属しませんが、本会による公表について第3節を参照して下さい。

1.2.3 解説（講義）〔依頼論文〕

視覚の特定の分野について最近の成果もしくは基礎的な知見や項目などをわかりやすく解説した論文です。その内容によって、先進的な知見の紹介が主である場合には解説，基礎的な項目の解説に重点が置かれている場合は講義とします。その分野を理解する上で必要と思われる文献を引用するようにご配慮下さい。自ら執筆希望する場合も依頼原稿扱いとするので、事前に編集事務局（7.1参照）に問い合わせて下さい。

1.2.4 その他の記事

(a) さろん

研究会・講演会の報告，会員の意見，会員

の活動状況，質疑応答など会員相互の交流に役立つ記事です。

(b) Notice Board

日本視覚学会の活動状況報告および関係行事の予告等です。

(c) 研究会関係

研究会のプログラム・抄録等です。

(d) その他

その他の記事（例えば追悼文など）を執筆される際には事前に編集事務局（7.1参照）に問い合わせて下さい。

2. 原稿の準備

本節の内容はVISIONに掲載するすべての原稿に適用します。査読付き投稿論文を投稿する場合は、「査読付き論文投稿規定」も併せて熟読して下さい。

2.1 原稿の形式

・原則として論文の投稿は電子媒体を用います（4節参照）。査読付き論文の場合、採択されるまでは印刷媒体による投稿も受け付けますが、採択後の最終稿は原則として電子媒体によって提出して下さい。

- ・原稿は日本語または英語で記述して下さい。
- ・原稿（電子媒体，印刷媒体とも）にはA4用紙を使用（設定）して下さい。行間はダブルスペースとします。ページあたり行数，行あたり文字数に関しては読みやすさを考慮し，マージンを十分にとり，段組などの整形は行わないようお願いします。（刷上りは和文で21文字×41行×2段組となります。表題部は少なくとも10行×2段程度を要します。その他図表なども勘案してページ数を概算して下さい。）

2.2 電子ファイルのフォーマット

2.2.1 審査のための原稿

査読付き投稿論文（原著論文，研究速報）の電子媒体による投稿に際しては，審査の迅速化と正確な審査のため，本文と図などを一つにまとめたPDFファイルのみを受け付けます。採択されるまでは必ずしも印刷品質の図を要しませんが，審査のために適切な解像度として下さい。

原則として図表は論文の最後にまとめて下さい。ただし、審査に支障がないと思われる場合は本文中に貼り付けてもかまいません。

2.2.2 印刷のための原稿

審査を要しない原稿、及び採択が決まった原著論文・研究速報の場合、本文と印刷品質の図の電子ファイルを提出して下さい。現在、下記に挙げるファイルフォーマットが受け付け可能です（随時変更される可能性があります）。TeX、XMLなどは現在のところ取り扱えません。他のフォーマットが特に必要な場合は事前に編集事務局に問い合わせして下さい。

本文：

- Microsoft Word【推奨】
- リッチテキストフォーマット(.rtf)
- プレーンテキスト（上記が困難な場合のみ）
- PDF（本文が取り出せるようにする）

図：

- Microsoft PowerPoint（使用バージョンを明記）
- Microsoft Word（使用バージョンを明記、貼り付け形式に注意）
- フォントの埋め込みをしたPDF（ベクトルデータ、または高解像度を維持）
- Adobe Illustrator：（使用バージョンとMac/Windowsを明記）
- EPS（確認のためPDF併用が望ましい）
- 各種ビットマップ(1200DPI)

ただし、問題回避のため図のオリジナルファイルとともにPDFファイルも提出するようお願いいたします。

線図の場合、ベクトルデータ（ドロー系ソフトで扱うデータ）を用いて下さい。やむをえずビットマップを用いる場合は、印刷に適した解像度(1200DPI)を要します。Microsoft PowerPoint(.ppt/.pptx)ファイルは、微妙にずれが生じる場合があるので、必ずプラットフォーム(Mac/Windows)とバージョンを明記し、PDFやビットマップによる確認用ファイルを添付して下さい。

写真などの場合は、ビットマップデータとします。PNG、BMP、JPEG、TIFFなどの一般的な形式が使用可能です。特殊なフォーマットが必要な場合は別途確認して下さい。JPEGなどの非可逆圧縮フォーマットを使用する際は、画質の劣化に注意して下さい。

図はMicrosoft Word、Microsoft PowerPoint、Adobe Illustratorなどの文書に貼り付けてまとめた状態でも受け入れ可能です。ただし、貼り付けるときに低解像度にならないように注意して下さい（特にMac版のWordで問題が起きやすい）。また、各図番号を明示するとともに、その番号が製版時に容易に除去できるようにして下さい。

2.3 原稿の内容

2.3.1 表題

原稿の1ページに、論文の種類、表題、著者名、所属とその所在地、最後に著者連絡先（電話番号、メールアドレス）を記して下さい。原著論文・研究速報の場合は、表題、著者名、所属とその所在地の英文表記が必要です。なお、論文には連絡先として所属と住所が記載されます。著者の希望によりメールアドレスを付記できますので、その場合はここに指示を書いて下さい。

2.3.2 要旨とキーワード

査読付き投稿論文（原著論文、研究速報）の場合、原稿の2ページ目に、英文要旨(abstract)、および3ページ目にそれによく対応した日本語要旨を記載して下さい。英文要旨の語数は原著論文の場合は150語以内、研究速報の場合は100語以内とします。日本語要旨は英文要旨審査の参考にするもので、印刷はされません。英文はあらかじめ語学に堪能なものの校閲を受けることを推奨します。

また、英文要旨の後に、論文を特徴づける英語のキーワードを3～5項目つけて下さい。キーワードは名詞または名詞句とします。固有名詞以外はすべて小文字とし、複数形をとり得るもの(countable noun)は複数形を示して下さい。原則として略語は使わないようにして下さい。

さい。

査読付き投稿論文以外の原稿には要旨は不要です（英文、日本文とも）。

2.3.3 本文

査読付き投稿論文の場合は原稿の4ページ目、その他の原稿の場合は原稿の2ページ目から本文となります。本文の項目の分け方は、節を1.、項を1.1、小項目を1.1.1のようにして下さい。

2.3.4 引用文献

・文献の引用は本文中での引用順序に従って通し番号をつけて下さい。

・本文中では番号を上ツキの数字と「」で示して下さい^(1), 3,5), 7,10)のような形にする。なお、著者名（年号）形式と番号の混在はなるべく避けて下さい。例えば、可能な限り Akita et al (1964)¹⁾ではなく Akitaら¹⁾のように記述して下さい。

・引用文献は論文の末尾に一括したリストとして記載して下さい。引用箇所の特定できない参考文献は記載しないようにして下さい。

・引用文献リストにおいて、ハンギングインデントは、空白・改行などで調整せずに、なるべくインデント機能を使用して下さい。

引用文献リストの例

雑誌論文 「著者：論文題名. 誌名, 巻, 開始ページ-終了ページ, 年.」の順に書いて下さい。筆者が複数の場合は全筆者の氏名（欧文のときは名のイニシャル, 姓とする）を書きます。雑誌名は省略せずに書き、雑誌の巻数はボールド標記として下さい。欧文誌の場合、雑誌名はイタリック標記として下さい。

1) 河原哲夫, 尾羽沢大: 視覚系のMTF簡易測定装置の試作. 臨床眼科, **33**, 1505-1509, 1979.

2) M. Akita, C. H. Graham and Y. Hsia: Maintaining an absolute hue in the presence of different background color. *Vision Research*, **4**, 539-556, 1964.

単行書 「著者：書名, 出版社名, 年.」の順に書いて下さい。欧文書の場合、書名はイタリッ

ク標記として下さい。

3) L. M. Hurvich: *Colour vision*. Sinauer, Sunderland, 1981.

4) 池田光男: 色彩工学の基礎, 朝倉書店, 1980.

単行書：編著の一部の場合 「著者：項目（論文）名. 編者名：書名, 出版社名, 開始ページ-終了ページ, 年.」の順に書いて下さい。欧文書の場合、編者名, 書名はイタリック標記として下さい。

5) D. Jameson: Opponent-colours theory in the light of physiological findings. *D. Ottoson and S. Zeki (eds): Central and Peripheral mechanisms of colour vision*. The MacMillan Press, New York, 83-102, 1985.

6) 江島義道: 2色閾値法. 日本視覚学会(編): 視覚情報処理ハンドブック, 朝倉書店, pp. 120-122, 2000.

2.3.5 図, 写真および表

・図と写真は図1, 図2のように（英語の場合はFig. 1, Fig. 2など）、表は表1, 表2のように（英語の場合はTable 1, Table 2など）通し番号をつけて下さい。図と写真の区別をせず、図で統一して下さい。

・図, 表の挿入箇所はおよその位置を本文中あるいは右欄外に記して下さい。

・図および表の説明（キャプション）は図, 表の番号順に本文の最後に書いて下さい。

・グラフなどの縦横の比率は印刷時の状態をイメージして見やすいように決めて下さい。特に、凡例をグラフの横におく場合は、凡例がグラフ中や上下にある場合に比較して、グラフ本体が縮小されて印刷されることに留意して下さい。また、図中の文字, 記号の大きさは刷上り時に小さくなり過ぎないように注意して下さい。

・写真は原則として電子ファイルとして提出して下さい。ただし大きさは刷上りとほぼ同じであることが必要です。それが不可能な場合は、印画紙に焼き付けたものを提出して下さい。

・他の著作物から図, あるいは写真を原形ある

いは原形に近い状態で転載する場合については、著者自身がその著作権所有者の許可を求めするための手続きを行って下さい。

- ・図中のフォントは特殊なものを使用しないようにして下さい。

2.4 文章の表記に関する注意事項

・日本語の場合、本文は原則として常用漢字、現代かなづかいを用いて下さい。術語は学会等で一般に用いられているものおよび文部科学省で制定されたものを用いることが望ましい。人名、日本語になりきってない術語などは原則として原綴りで書いて下さい。

・単位は国際(SI)単位系を用いて下さい。やむをえずその他の単位を用いるときはSI単位系と併用して下さい。たとえば、時間の秒はsecではなくsです。ただし、時間などは、本文中で適切な場合には漢字表記でも可能です。

・英語の場合、米国式、英国式双方の記述が可能ですが、一貫している必要があります。

・電子媒体の場合、可能な限りボールド、イタリック、添字などの書式は原稿中で直接指定して下さい。印刷媒体あるいは電子媒体で指定が困難な場合は、ボールドとすべき文字は文字の下に波線(朱書)、イタリックとすべき文字は文字の下に直線(朱書)をつけて指定、添字は朱書で上ツキ、下ツキを指定して下さい。

・特別な印刷指定、印刷すべき本文以外の指定や注意書きはすべて本文中もしくは欄外に朱書で記して下さい。

・日本語文の段落の最初には全角空白1文字を入れて下さい。

・句読点はピリオド(。)とカンマ(,)を使用して下さい(、は使わない)。

・数字などは1文字(1桁)の場合は全角、2文字(2桁)以上の場合は半角を用いて下さい。

・文中の欧文も数字と同様です。欧文は必要な場合(文頭、固有名詞、ドイツ語の名詞など)以外はすべて小文字として下さい。また、英単語の途中にハイフンを入れたり、単語の間に改行や余分な空白などを入れたりしないようにして下さい。

・右側をきれいにそろえるための空白や改行は入れないようにして下さい。

3. 著作権

掲載された査読付き投稿論文(原著論文、研究速報)の著作権は日本視覚学会に帰属します。

査読なし投稿論文(講演要旨、研究ノート)、解説(講義)、その他の記事の著作権は著者に帰属します。但し、VISION誌への掲載の後、日本視覚学会によるインターネット上または可搬媒体による公開を許諾することとします。

4. 原稿送付

投稿の際には所定の投稿票を添付して下さい。投稿票は日本視覚学会ウェブページ(7.2項参照)で入手できます。審査の迅速化のため、なるべく電子媒体を用いるようお願いします。

査読付き論文(原著論文、研究速報)の原稿は、電子媒体または印刷媒体によってVISION編集事務局(7.1項参照)へ送付して下さい。

電子媒体の原稿は電子メールで送付して下さい。1週間以内に受付確認の返信がない場合には同アドレス宛に確認して下さい。ただし、図や数式などの正確な再現のため、編集担当者より印刷媒体の提出を併せて求める場合があります。論文が受理されるまでは印刷品質の図などは不要です。印刷媒体での提出時には本稿に加えて査読用コピー(2部)が必要です。正確な印刷と迅速な出版のため、採択後の最終稿は電子媒体によって提出して下さい。

審査を要しない原稿、及び採択が決まった原著論文・研究速報の場合、2.2項を参照して本文と印刷品質の図を電子媒体によって提出して下さい。

5. 著者校正

著者校正は1回行います。この際印刷上の誤り以外の修正、図版の修正は認められません。校正刷は受理後4日以内に返却して下さい。期限に遅れた場合は編集の校正をもって校了とする場合があります。

6. 掲載料金

6.1 掲載料金

著者に会員を含む場合の論文投稿（原著論文、研究速報、講演要旨、研究ノート）は無料です。投稿と同時に入会してもかまいません。

全著者が非会員の場合の論文投稿料は、刷上り1ページにつき5,000円（税別）です。

依頼論文およびその他の記事は無料です。

なお、誠に申し訳ありませんが、現在のところ、依頼論文に対して原稿料はお支払いしておりません。ただし、別刷（50部）を提供させていただきます。非会員の執筆者には掲載誌を差し上げます。

6.2 カラー印刷料金

投稿論文の場合、必要な経費は著者の負担とします（金額はお問い合わせください）。

依頼論文およびその他の記事の場合は、原則として学会が必要な経費を負担しますが、カラー図版は必要最小限とするようお願いいたします。

6.3 別刷料金

別刷は50部の倍数で請求できます。別刷請求は投稿時に添付表に記載して下さい。別刷料金は下記に定めます。カラー印刷の場合は必要経費を追加請求する場合があります。

依頼論文の別刷りは最初の50部を無料とします（追加分はお問い合わせください）。

さろん等の記事については、特に申し出のなにかぎり別刷は作成しません。

著者（代表者）にはPDFファイルを送付します。

投稿論文の別刷料金（送料込み・税別）

ページ数	部数			
	50	100	150	200
4	6,300	8,700	11,100	13,500
8	7,000	10,100	13,200	16,300
12	7,700	11,500	15,300	19,100
16	8,400	12,900	17,400	21,900
20	9,100	14,300	19,500	24,700

7. 連絡先

7.1. 原稿送付・問い合わせ先

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5

アカデミーセンター

(株)国際文献社内 日本視覚学会

VISION編集事務局

電話03-6824-9370 FAX 03-5227-8631

E-mail: vision-post@as.bunken.co.jp

7.2. 視覚学会ウェブページ

<http://www.visionsociety.jp/>

VISION 査読付き論文投稿規定

日本視覚学会

1992年2月24日 制定
2005年1月25日 改訂
2009年3月3日 改訂
2012年3月1日 一部改訂

本投稿規定は、査読付き投稿論文に関するものであり、他の原稿の執筆に関しては、VISION 執筆要領を参照すること。

1. 査読付き投稿論文の種類

日本視覚学会会誌 VISION は、視覚に関係ある諸分野の査読付き投稿論文を受け付ける。執筆者は、日本視覚学会の会員・非会員の別を問わない。内容は、視覚に関連する、心理物理的研究、生理学的研究、計算論的研究など諸分野の研究、あるいは実験方法や解析手法などに関する研究も歓迎する。内容について不明な点がある場合は編集事務局に問い合わせること。そして、投稿された論文の内容についての新規性、正確性が査読プロセスにより審査され採否が決定される。また、論文の内容に応じて以下の二種類がある。

(a) 原著論文

その内容について新規性を持ち理論的に明確な、視覚研究分野において価値があると思われる論文である。図を含めて刷り上り10ページ以内であることが望ましい。

(b) 研究速報

新規性があり視覚研究分野において価値があると思われる短い論文である。原則として図を含めて刷り上り4ページ以内とする。

2. 掲載の決定

原著論文、研究速報ともに、内容の新規性、正確性が査読プロセスにより審査され採否が決定される。原著論文の場合は原則2名以上の査読者による意見をもとに、編集委員会で審議の上採否が決定される。研究速報は、査読者が原

則1名以上という点を除いて、原著論文と同様である。

3. 著作権

投稿する原著論文、研究速報は未発表のものに限る。そして、本誌に掲載された場合それらの著作権および著作権は、日本視覚学会に帰属する。ただし、本会が必要と認めたとき、あるいは外部から引用の申請ならびに著作権使用の申請があったときは、編集委員会で審議し、転載ならびに著作権使用を認めることがある。

4. 原稿の作製

以下に要点を記す。詳細は「VISION 執筆要領」を参照のこと。

- 原稿はA4要旨を使用（設定）し、行間はダブルスペースとし、マージンを十分にとること。
- 原稿の1ページ目に、論文の種類、表題、著者名、所属とその所在地、最後に著者連絡先（電話番号、メールアドレス）を記す。表題、著者名、所属とその所在地は英文表記も必要。
- 原稿の2ページ目に英文要旨 (abstract)、および3ページ目にそれによく対応した日本文要旨を記載する。英文要旨の語数は原著論文の場合は150語以内、研究速報の場合は100語以内とする。日本文要旨は英文要旨審査の参考にするもので、印刷はされない。英文はあらかじめ語学に堪能なものの校閲を受けることが望ましい。
- 原稿の4ページ目から本文となる。本文の項目の分け方は、節を1.、項を1.1、小項目を

1.1.1とする。

5. 原稿の投稿

原稿の提出は電子媒体または印刷媒体による。電子媒体の場合は本文と図などを一つにまとめたPDFファイルをVISION編集事務局にメール添付書類として送付すること。印刷媒体の場合は、本原稿に加えて査読用コピー2部を添付し、VISION編集事務局へ郵送すること。

印刷媒体、電子媒体のいずれの場合でも、必ず所定の投稿票を添付する。（投稿票は日本視覚学会ホームページで入手できる。）

6. 論文の撤回

審査中の論文が訂正などのために著者の手許に返されたまま特別な理由なく6カ月を経過した場合には、その論文は撤回されたものとみなす。